

目 录

卷首

- 论《医宗必读》症因差误治法不合 (1)
- 论赵氏《医贯》症因差误治法不合 (4)
- 论《内经》《金匱》中风卒中症因各别治法不同 (7)
- 论《内经》《金匱》阴虚阳虚症因各别治法不同 (11)
- 论《内经》《金匱》水肿腹胀症因各别治法不同 (13)
- 论《内经》膈气呕吐噎膈呕吐症因各别治法不同 (18)

卷一

- 中风总论 (21)
 - 外感中风症 (21)
 - 内伤中风论 (24)
 - 内伤中风症 (24)
 - 外感半身不遂 (26)
 - 内伤半身不遂 (27)
 - 外感四肢不举 (28)
 - 内伤四肢不举 (28)
 - 外感口眼喎斜 (30)
 - 内伤口眼喎斜 (30)
 - 外感口噤不语 (32)
 - 内伤口噤不语 (33)
 - 外感痰壅 (34)
 - 内伤痰壅 (34)
 - 外感舌音不清 (36)

内伤舌音不清	(36)
外感遗尿	(37)
内伤遗尿	(38)
伤寒总论	(39)
中寒论	(44)
中热中暑总论	(45)
中热病	(46)
寒热病论	(48)
寒热病	(48)
发热总论	(49)
外感发热	(50)
风寒发热	(50)
温热发热	(51)
内伤发热	(51)
气分发热	(51)
血分发热	(52)
头痛论	(53)
外感头痛	(53)
内伤头痛	(55)
附：大头症	(57)
大头见症	(57)
齿痛	(59)
外感齿痛	(59)
内伤齿痛	(60)
胸痛论	(61)
外感胸痛	(62)
内伤胸痛	(63)
胁痛论	(64)

外感胁痛	(65)
运气胁痛	(65)
感冒胁痛	(66)
内伤胁痛	(67)
胃脘痛论	(68)
外感胃脘痛	(69)
内伤胃脘痛	(70)
腋痛论	(72)
外感腋痛	(72)
内伤腋痛	(74)
肩背痛论	(74)
外感肩背痛	(75)
内伤肩背痛	(76)
腰痛总论	(77)
外感腰痛	(77)
风湿腰痛	(77)
寒湿腰痛	(78)
湿热腰痛	(80)
内伤腰痛	(81)

卷二

咳嗽总论	(84)
外感咳嗽	(84)
伤风咳嗽	(84)
伤寒咳嗽	(85)
伤湿咳嗽	(86)
伤暑咳嗽	(86)
伤燥咳嗽	(87)
伤热咳嗽	(88)

内伤咳嗽	(89)
肺经咳嗽	(89)
脾经咳嗽	(90)
心经咳嗽	(91)
肝经咳嗽	(92)
肾经咳嗽	(92)
气虚咳嗽	(93)
血虚咳嗽	(94)
食积咳嗽	(95)
积热咳嗽	(95)
附：诸贤论	(96)
噎隔论	(98)
外感噎隔	(99)
内伤噎隔	(100)
吐血咳血总论	(101)
外感吐血	(101)
内伤吐血	(102)
嗽血论	(103)
外感嗽血	(104)
内伤嗽血	(104)
衄血论	(107)
外感衄血	(108)
内伤衄血	(109)
牙衄总论	(110)
外感牙衄	(110)
内伤牙衄	(111)
劳伤总论	(112)
外感劳伤	(113)

感寒劳伤	(113)
感热劳伤	(113)
内伤劳伤	(114)
心虚劳伤	(114)
肝虚劳伤	(115)
脾虚劳伤	(115)
肺虚劳伤	(116)
肾虚劳伤	(117)
精虚劳伤	(117)
气虚劳伤	(118)
血虚劳伤	(119)
饮症论	(120)
痰饮	(120)
悬饮	(121)
溢饮	(122)
支饮	(123)
留饮	(124)
伏饮	(125)
痰症论	(126)
外感痰症	(126)
风痰	(126)
湿痰	(127)
燥痰	(128)
内伤痰症	(128)
燥痰	(128)
湿痰	(129)
郁痰	(130)
食积痰	(130)

丹溪杂治·····	(131)
附：诸贤论·····	(132)
眩晕总论·····	(134)
外感眩晕·····	(134)
风寒眩晕·····	(134)
暑湿眩晕·····	(136)
燥火眩晕·····	(136)
内伤眩晕·····	(137)
气虚眩晕·····	(137)
血虚眩晕·····	(138)
痰饮眩晕·····	(139)
火冲眩晕·····	(140)
喘症论·····	(143)
外感喘逆·····	(143)
风寒喘逆·····	(143)
暑湿喘逆·····	(144)
燥火喘逆·····	(145)
内伤喘逆·····	(146)
内火喘逆·····	(146)
痰饮喘逆·····	(147)
食积喘逆·····	(147)
气虚喘逆·····	(148)
阴虚喘逆·····	(149)
伤损喘逆·····	(150)
附：产后外感喘·····	(150)
附：产后内伤喘·····	(151)
附：肺胀·····	(152)
附：诸贤论·····	(153)

哮喘论	(154)
哮喘	(154)
短气论	(155)
外感短气	(155)
内伤短气	(156)
实邪短气	(156)
气虚短气	(157)
呃逆论	(158)
外感呃逆	(158)
内伤呃逆	(159)
附：诸贤论	(161)
呕吐论	(162)
外感呕吐	(162)
风气呕吐	(162)
寒气呕吐	(163)
暑气呕吐	(163)
湿气呕吐	(164)
燥火呕吐	(165)
湿热呕吐	(165)
内伤呕吐	(166)
胃火呕吐	(166)
胃寒呕吐	(167)
痰饮呕吐	(167)
食积呕吐	(168)
附：吐水类	(169)
外感吐清水	(169)
内伤吐清水	(169)
外感吐苦水	(170)

内伤吐苦水	(171)
外感吐酸水	(171)
内伤吐酸水	(172)

卷三

肿胀总论	(174)
外感肿症	(174)
风寒身肿	(174)
寒湿身肿	(175)
湿热身肿	(176)
燥火身肿	(177)
黄汗身肿	(177)
内伤肿症	(179)
肺虚身肿	(179)
肺热身肿	(180)
脾虚身肿	(181)
脾热身肿	(182)
肝肾虚肿	(183)
外感腹胀	(184)
伤寒腹胀	(184)
风湿腹胀	(185)
湿热腹胀	(185)
寒湿腹胀	(186)
内伤腹胀	(187)
气结腹胀	(187)
气散腹胀	(188)
肺虚腹胀	(189)
肺热腹胀	(189)
脾虚腹胀	(190)

脾实腹胀	(191)
肝火腹胀	(192)
肝肾虚胀	(192)
食积腹胀	(193)
虫积腹胀	(193)
痰饮腹胀	(194)
血瘀腹胀	(195)
脏寒腹胀	(195)
六腑腹胀	(196)
黄疸论	(197)
外感黄疸	(198)
黄汗	(198)
正黄疸	(198)
内伤黄疸	(199)
谷疸	(199)
酒疸	(200)
女劳疸	(201)
阴黄	(201)
三消总论	(202)
外感三消	(203)
燥火三消	(203)
湿火三消	(204)
内伤三消	(204)
积热三消	(204)
精虚三消	(205)
不得卧论	(206)
外感不得卧	(206)
表热不得卧	(206)

里热不得卧·····	(207)
半表半里热不得卧·····	(208)
血热不得卧·····	(209)
气热不得卧·····	(209)
余热不得卧·····	(210)
虚烦不得卧·····	(210)
内伤不得卧·····	(211)
肝火不得卧·····	(211)
胆火不得卧·····	(212)
肺壅不得卧·····	(213)
胃不和卧不安·····	(213)
心血虚不得卧·····	(214)
心气虚不得卧·····	(215)
痿症论·····	(215)
外感痿症·····	(216)
风湿痿软·····	(216)
湿热痿软·····	(217)
燥热痿软·····	(217)
内伤痿症·····	(218)
肺热痿软·····	(218)
心热痿软·····	(219)
肝热痿软·····	(219)
脾热痿软·····	(220)
肾热痿软·····	(221)
附：筋挛·····	(221)
外感筋挛·····	(222)
内伤筋挛·····	(223)
痹症论·····	(226)

外感痹症·····	(226)
风痹·····	(226)
寒痹·····	(227)
湿痹·····	(228)
热痹·····	(229)
内伤痹证·····	(230)
肺痹·····	(230)
心痹·····	(230)
肝痹·····	(231)
肾痹·····	(232)
脾痹·····	(233)
肠痹·····	(233)
胞痹·····	(234)
胸痹·····	(235)
酸软论·····	(236)
外感酸软·····	(237)
风湿酸软·····	(237)
湿温酸软·····	(238)
内伤酸软·····	(239)
痰饮酸软·····	(239)
积热酸软·····	(240)

卷四

疟疾总论·····	(242)
外感疟疾·····	(242)
寒疟·····	(242)
风伤卫疟·····	(243)
阳明瘧疟·····	(244)
湿疟·····	(245)

肺热痺症	(246)
肾经症	(247)
风发症	(247)
痺症	(248)
内伤疰痰	(249)
牡疰	(249)
疰母	(250)
食积疰	(250)
三疰	(251)
游疰	(252)
附：诸肾论	(254)
痢疾论	(255)
外感痢疾	(256)
寒湿痢	(256)
湿热痢	(257)
燥热痢	(258)
疫痢	(260)
内伤痢疾	(261)
七情痢	(261)
劳疫痢	(263)
饮食痢	(263)
外感休息痢	(265)
内伤休息痢	(266)
泄泻论	(268)
外感泄泻	(268)
外感风泻	(268)
外感寒邪泻	(269)
外感中暑泻	(270)

外感中热泻·····	(271)
外感湿泻·····	(272)
内伤泄泻·····	(272)
积热泄泻·····	(272)
积寒泄泻·····	(273)
痰积泄泻·····	(274)
食积泄泻·····	(275)
脾虚泄泻·····	(275)
附：五更泄泻·····	(276)
肾虚五更泄泻·····	(276)
酒积五更泄泻·····	(277)
寒积五更泄泻·····	(277)
食积五更泄泻·····	(278)
肝火五更泄泻·····	(279)
附：录食泻·····	(279)
附：诸贤论·····	(280)
霍乱论·····	(281)
外感霍乱·····	(282)
湿气霍乱·····	(282)
风气霍乱·····	(282)
热气霍乱·····	(283)
寒气霍乱·····	(284)
内伤霍乱·····	(285)
痰饮霍乱·····	(285)
食气霍乱·····	(285)
外感霍乱转筋·····	(286)
内伤霍乱转筋·····	(286)
外感霍乱烦渴·····	(287)

内伤霍乱烦渴·····	(288)
附：干霍乱·····	(288)
附：诸贤霍乱论·····	(289)
附：诸贤转筋论·····	(289)
腹痛论·····	(291)
外感腹痛·····	(291)
风气腹痛·····	(291)
寒气腹痛·····	(292)
暑湿腹痛·····	(292)
燥火腹痛·····	(293)
痧胀腹痛·····	(294)
内伤腹痛·····	(295)
热积腹痛·····	(295)
寒积腹痛·····	(296)
食积腹痛·····	(297)
痰积腹痛·····	(297)
酒积腹痛·····	(298)
虫积腹痛·····	(299)
血滞腹痛·····	(299)
血虚腹痛·····	(300)
气结腹痛·····	(301)
气虚腹痛·····	(302)
附：肠痛腹痛·····	(303)
小便不利论·····	(303)
外感小便不利·····	(304)
运气小便不利·····	(304)
伤寒小便不利·····	(305)
阴寒小便不利·····	(306)

内伤小便不利·····	(307)
热结小便不利·····	(307)
偏渗小便不利·····	(308)
气虚小便不利·····	(309)
阴虚小便不利·····	(310)
阳虚小便不利·····	(310)
大便秘结论·····	(312)
外感便结·····	(312)
伤寒便结·····	(312)
湿热便结·····	(313)
内伤便结·····	(314)
积热便结·····	(314)
气秘便结·····	(315)
血枯便结·····	(315)

卷首

论《医宗必读》症因差误治法不合

李士材先生《医宗必读》书，广为流布也，先生大意，多得之王宇泰《准绳》，而立论则宗《薛氏十六种》。其论中风一症，则辨别真类；泄泻之治，立法昭明；心胃之痛，详加注别；咳嗽腰痛，皆分外感内伤；肿胀之症，分别虚实寒热，俱无遗议者矣。

但其中尚有未纯之处，前此相沿成弊。如首论伤寒传至三阴之条，误引直中阴经之方，混一立治。夫先起三阳，以后传至三阴，乃是传经之阳症，经虽属阴，邪则阳邪。故《伤寒》经云：先发热后发厥，此乃是传经之邪，非直中阴经寒症，是热深厥深之谓也。今先生反用直中阴经阴症之方，而曰轻则理中汤，重则四逆汤。后于直中阴经条下，又云初起不发热，便见寒症者，名为直中阴经之寒症，亦以此二汤主之。夫传至三阴，阳症也；直中阴经，阴症也。一寒一热，二症天壤，而以一法混治，岂理也哉？

至论虚劳一症，于吐血条下，首列苏子降气汤一方，极为不可。丹溪先生曰：口鼻出血，皆是阳盛阴虚，法当补阴抑阳。又曰：犀角之性，能升散一切有余之火，若阴虚者用之，宁免飞扬之患乎？夫犀角清凉辛散，尚为阴虚者所戒；而苏子、前胡、半夏、沉香辛温升散之味，岂为虚劳吐血之所宜乎？此乃外感吐血之方，不应列入虚劳吐血条内。先生因见《准绳》书，失于分别，是以展转相误。后张三锡先生集《治法汇》，独删去此方，

良有苦心也。

至痢疾一症，有四时寒热之不同。今先生混引《卫生宝鉴》所引经文脾泄、肾泄内伤痢症之说，而归重于脾肾二经立论。不知脾传肾，肾传脾，乃论五脏相承内伤痢，非所论夏秋热痢之条。今先生论中，既曰痢起夏秋，湿蒸郁热，亦论夏秋之痢矣，即当从秋令燥金阳明司令立论，而归重于肠胃二经，不宜牵入脾肾去。夏秋之先水泄后脓血，先脓血后水泻，乃是手足阳明肠胃之湿热症，非脾肾相传之微邪贼邪内伤症也。古人云：大肠受病，则气凝注而成白痢；小肠受病，则血凝注而成赤痢；大小肠均受其病，则赤白相杂而下。胃之湿热，下淫于大小肠者亦如此。即按经文，曰肠澼下血，曰肠澼下白沫，曰肠澼下脓血，诸条之论，皆以肠字立言；不曰脾澼、肾澼，而曰肠澼，则知痢症当以肠字为主矣。今先生论中，脱却肠字本题，而独重于脾肾二藏，则夏秋之痢，先生欲补此两藏乎？抑欲温此两藏也？夫脾泄、肾泄，藏气不足，内伤之虚症，藏症也；夏秋之痢，肠胃受邪，外感之实症，腑症也。内伤不足，外感有余，二者天壤。即有少阴下痢脓血一症，乃是手少阴心主为患，非足少阴脾传肾之一症。故《保命集》以少阴痢曰小肠泄，以心与小肠为表里，心移热于小肠，小肠移热于大肠，则下痢脓血，以手少阴心经主血故也。经虽属阴，症则阳邪，如伤寒阳症传阴经之比也。夫夏秋之痢，先要究其致病之根。当五六月巳午丙丁行权，而庚金大肠受克于夏令之时，预伤其金水；至秋燥金行令，金被火刑，熏烁下溜。赤属火之本来，白属金之本色，而赤白相杂之痢作矣。即或纯白无红，虽非心火所乘，亦为素秋燥火太旺，伤其金位本身，故白色溶化而下。此为乘令而得病者也。今先生言言牵带脾肾，妄存温补固涩横格胸中，致令痴人说梦。便有初起之痢，肠胃壅滞，热郁于内，反见外寒兼化之象，误认虚寒，竟以古人辛温发表方中，妄加补涩之药，混治湿热燥热之痢。不知古人辛温